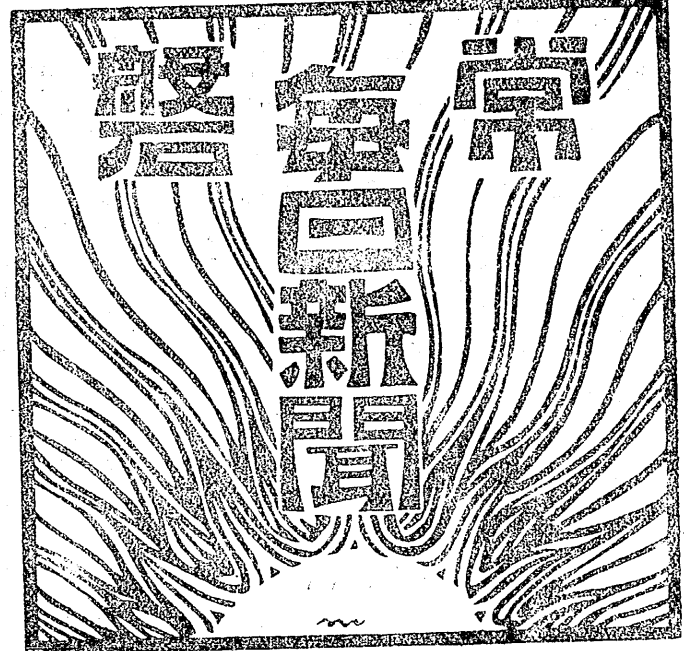


日刊 印刷 編輯 人 川崎文治 本社下田番地(電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所



刊夕日一十月十

定部金貳錢 廣五號十二 字時行 料五十五錢 日刊休 日曜大祭 日刊休 日曜大祭 電話六三〇番

看護婦派出の求めに應ず 平町南町 平看護婦會 電話三〇七番

美味評判 イワキ食堂 平町紺屋町(縣社通り) オの部電話四六〇番

酒 鶴仙 松吉屋本店 電話二四一四番

會田時計店 電話三六三

十月號新譜到着 平町四丁目



流行正確な 娛樂と研究

内小兒科 花柳科 (需應院入) 藤沼醫院 電話五〇七番

泌尿婦人科皮梅毒科 外科 阿部醫院 平町字新川町電話六一五番

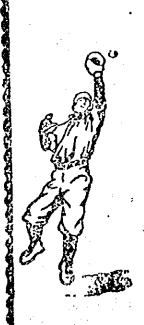
祖元支那料理 喜來軒 近藤喜多治 平町紺屋町(電五四五) 女給三名至急募集

露披築増 祖元支那料理 喜來軒 近藤喜多治 平町紺屋町(電五四五) 女給三名至急募集

特約店 本舖 福島縣石城郡神谷村 大字鎌田岸七番地 鈴木銀太郎 靈藥 青病藥 定價(一週間分) 靈藥 青病藥 定價(一週間分) 靈藥 青病藥 定價(一週間分)

常盤論壇 總辭職の外なし 田中五郎 政局は日に一行詰りの状態を呈して居るのであつて政府としては議會前に於て總辭職を執行するより外はありまい、政本兩黨が朴烈問題に就て彼の如き状態を探り而して研究會も亦漸次硬化の度を昂めつゝあり研究會としては若槻首相は對する本黨との誓約を熟知し而してこれが實現せられざるに於てはかかる状況となるは己むを得ざる現象であつて會出身の政務官も遂に脱退の外なかるべく然れば若

規内閣は貴衆兩院に於て全く無援孤立の立場に居らねばならぬこととなるのであつて何物によりて内閣を支援せんとするか總辭職は當然來るべき運命と云はねばならぬのである、若し又政府にして反省する處なしとせんか更に重大問題が勃發すべく此の問題にして朴烈問題の關聯して政府に肉薄する處あらんか如何に嘯ちり付きに汲々たる政府と雖も隱退を餘儀なくせらるべし殊に黨内の空氣及閣内の空氣として可なり總辭職に説に傾きつゝありとの事なれども勞々政府の運命は全く風前の燈火と斷せざるを得ないものである、若し又假りに政府にして解散迄漕ぎ付けて果して多數を制し得るや否やと云ふにこの場合となれば政友會及本黨は期せずして提携して政府と戰ふに至るべく而も兩者の間に於ては次の政權に對して相當緊密なる關係を結びつゝあるを以て何と云へども多數を制すること能はざるべし而も貴族院の空氣は研究會始め悉く硬化すべきを以て政府の政權支持は絶対に不可能に終るべきは火を賭るより明白である



今秋流行のセーブルモネル 珍柄物豊富に着荷いたしました、是非御來觀御用命の程を 三井吳服店 平町三丁目 電話三十八番



外科専門 入院應需 上田外科醫院 平町南町 電話一二九番

第二病室 高久病院 院長 醫學士 高久忠 副院長 新潟醫學士 赤羽清 藥局長 藥劑師 佐竹菊雄 平町田町電話五一三番

治淋 偉効藥の現出 ラウタール 從來の治淋藥は其成分を異にする アラユル治淋劑にて癒ざる人々に必ず服用を勧む 胃腸障害なく効果必然と顯る眞に治淋藥の最高新藥なり 其奏効適確に實驗者輕症用金三圓、重症用拾圓也 平町五丁目角 代理店 山野邊藥局

只今流行ノ編物 各品店 電話一四〇

剛氣な薩摩青年が 叔父を探して平町へ

廿餘日の徒歩旅行 同情した鈴木訓導

昨夜七時半頃を過ぎる秋
雨に濡れながら身の丈五尺
八寸位な薩摩籍の青年が平
第一小學校に訪れ来た。訓
導鈴木康氏が

面會する。青年は
鹿兒島縣河邊郡河邊町の者
で名を立花信祐(と)と云ふ
その語る處に依れば大体左
記の次第で長野から單身山
野に打ち伏しつゝ、徒歩を續
け叔父に當る岡田實の行衛
を探しに來たのである事が
判つた

訪ね當てた 男の甘言に 乗せられて

旅費を捲き上げらる

立花青年の尋ねる岡田實と
云ふ人は佐賀縣の縣視學を
務めて居た事があるが其後
職を辭してから消息を絶ち
何れに走つたか行衛は全々
判らなくなつて仕舞つた、
然るに其後或る事情(詳しく
語らず)に依つて

立花青年

はさうし
ても叔父の行衛を探さねば
ならぬ事が持ち上つた、斯
くて去月十三日相當の旅費
を懐中し元叔父の知遇を蒙
つた事のある野田某が長野
の或る信託會社に務めて居
る事を知り同人を訪ねて叔

青年は絶望の餘り悲憤の
涙を流して其場に打ち倒れ
た、鈴木訓導は青年の話に
動かされて痛く同情し食事
代りにもとパンを與へたが
青年は固く

辭退した

然も兩足
は飢の爲めによろめいて居
るのである、無理にすゝめ
られて漸くパンに嚙りつい
たが彼の食慾は彼れをし
て恰も餓虎の如き勢ひを持
たしめまた、く間にパンの
山を食へ盡くせしめた、今
晩は寢直室の一隅に泊つた
なればよからうと

鈴木訓導

はねぎら
つたのであるが、青年は云
ふ『私は野田と云ふ男をた
よつて非常な失敗を招き此
苦辛をなめねばならなくな
つた、人をたよらうとする
考へは誤りも甚だしい事だ
あるとの生きた教訓を得た
のである、御親切は有難い
が私はお恵みは受けない、
幸ひにして私は強健である

私は自然

の風物に
抱かれて寝むる、そして私
は私の持つ現金四錢と白米
を私の糧として草の根を噛
つても自分の郷里に歸る』



家庭關

球根の植方

秋植の球根にはヒヤシンス
チューリップ、アネモスフ
リーチヤ水仙等其他種々あ
りますが皆十月一杯か十一

てならない、直ちに青年の
郷國に向つて手紙
を出したとの事であら
平驛に

鐵道警察増員

人員査定の結果
平驛の司法警察吏は從來二
名であつたが助役の勤務が
變更され循環勤務となる結
果から三日目に一名が不在
となるので此程人員査定の
結果鐵道司法警察吏を一名
増員する事に決定した

大漁の

祝ひ着を盗む

起訴猶豫中の男

住所不定茨城縣多賀郡大津
町字中町生れ永山勇三郎(一
七)は去る廿日午後八時頃
双葉郡久之濱町江の網海岸
に於て洋運丸船中より木綿
万祝袴二羽外三點代金九圓
八十錢分を窃取し昨日小名
濱にて志田駐在巡查に逮捕
されたが同人は本年六月廿
六日夜石城郡豊間村鈴木淺
治方に忍び入り現金を窃取
し起訴猶豫に附されて居た
ものにて餘罪ある見込であ
ると

や木葉馬糞鳥糞等を泥と一
緒に積んでおいて腐らせた
ものもしくば馬糞の腐朽し
たものをすき込みなほ一握
の油粕と過燐酸を球根の真
下に埋ておきます最もそれ
が直接球根にふれるのはよ
くありませんから、二握り
程の川砂をその上に敷て球
根を植えます

新式の 兵器を使用し

警中發火演習

縣立警城中學校の年中行事
中の一大行事とされてゐる
發火演習は本月下旬頃三日
間の豫定で行はれるが長島
大尉配屬第二回目的演習だ
けに本年は大々的に舉行し
出來得る限り新式の兵器を
使用せしむる方針で從來は
俄仕立の兵隊さんだけに握
り飯で駆け廻つたのだが本
年からは軍隊同様に飯盒や
天幕で服の色が違ふだけ
と本もの軍人と少しも變
るところなく演習地域は目
下同校長北島北郷兩大尉が

少年 野球 猛練習

いはらき主催

各方面に涉つて種々調査中
いはらき新聞社平支局主催
第六回演習三郡少年野球大會
は期日の切迫につれ各校選
手は猛練習中にあるか本年
は濱三郡を區域としてゐる
だけに石城の各校も非常な
緊張味を見せてゐる平第
一小學校では平商業學校に
挑戦し再三試合を行つたが
一勝一敗非常なる興味を以
て迎へられて居る

極く、番號

福島
市御倉町なる本縣農工銀行

貯金の詐欺

十五の少年が

通帳を改ざん
石城郡三坂村大字上三坂石
川郡小平小學校高等科二年
生松田久一(一七)假名は去る
五月廿五日妹は名義の郵
便貯金通帳を持出し貯金額
十圓を六十圓と改ざんし小
平局から二回にわたり五十

按摩の女房が

他人の名義

三十圓をかたる
平町字新川町按摩音吉妻赤
津きよ(一五)は同町字長橋
町醬油商奥山庄作方へ雇は
れたことあるを奇貨とし奥

募集

文藝其他投稿
を募集します

好問弓道大會

舊師の追善

石城郡好問村古河炭礦弓道
部にては本間留五郎、鈴木
常吉、佐藤喜胞、矢内松芳
の四氏發起となり昨日故弓
道師匠たる高橋竹次郎氏の
追善を兼ね同炭礦弓道場に
於て弓術大會を催し盛んた
つた